

広支交 第19号  
2018年6月21日

日本郵便株式会社広島郵便局  
局長 竹野公夫 殿

郵政産業労働者ユニオン広島支部  
支部長 増田正文 印

## 2018年度中元期におけるゆうパック等の取組について

2018年度中元期におけるゆうパック等の夏期繁忙対策及び職場要求を提出します。誠意ある回答をお願いします。

### 記

#### 1. 2018年度中元期におけるゆうパック等の夏期繁忙対策の取組について

昨年2017年度中元期は、デパート等の差立パレット等が溢れ、輸送部の事務室内が混乱したとの報告があります。今年度はゆうパック等の増加も予測され、また広域集荷の拡大により事務室内がさらに狭くなってきます。具体的な対応策を明らかにすること。

ゆうパック等の取組ならびに予想物数、短期アルバイトの雇用状況、分室等の設置の有無等明らかにすること。また、昨年度と夏期繁忙対策等の変更点があれば明らかにすること。

#### 2. トラック等の車両の過積載防止について

トラック等の過積載は、道路法・道路交通法に違反するばかりか、重大な事故につながる場合があります。さらに違反した場合は運転手だけでなく、事業主にも処罰の対象になります。過積載を起こさせないために具体的な対策を行うこと。

なお、運送車両の荷室に積載できるロールパレット(アルミ、鉄製Ⅱ型、鉄製Ⅲ型、鉄製Ⅳ型、鉄製Ⅴ型、)、ロールボックス、チルドコンテナ等の車種別荷量範囲を明確にするとともに徹底させること。

また最近、パレットそのものが大型化となり積載量も増えています。実パレット数だけでなく、パレットそのものの荷重も考慮した積載とすること。

#### 3. 職場内の冷房について

適切な温度管理を行い、熱中症対策を行うこと。

以上